



国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト 清水港 外港防波堤・三保防波堤の整備 (1966~2005)



出典：国土地理院発行 2万5千分1地形図

1960年代の高度経済成長に伴い、清水港の取扱貨物量や入港船舶は年々増加し、1963年（昭和38年）には年間取扱貨物量1千万トン、1964年（昭和39年）には年間貿易額1千億円を突破しました。

清水港の港勢が急拡大する中、港湾施設の増強が喫緊の課題となつたことから、1966年（昭和41年）、興津第1・第2埠頭の拡張、袖師第1・第2埠頭の建設に加え、港内の静穏性や船舶航行の安全性を確保するための第一線防波堤の新設を計画決定し、同年に外港防波堤、1972年（昭和47年）に三保防波堤の建設工事に着手しました。その後、消波ブロックの追加工事を実施し、2005年（平成17年）に、外港・三保防波堤が完成しました。

現在は、東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震に伴う津波による防波堤の倒壊を防止するための改良工事（粘り強い構造の導入）を進めています。

■主要施設／外港防波堤（延長1,300m）（2005年11月完成）、三保防波堤（延長330m）（1997年2月完成）

■構造形式／外港防波堤・三保防波堤：消波ブロック被覆堤（当初はケーソン混成堤、後に消波工を追加）

■事業期間／1966年（昭和41年）～2005年（平成17年）



清水港 外港防波堤・三保防波堤（2021年3月）

防波堤の効果

(港内の静穏性向上による船舶の安全・安定利用)

低気圧接近時における船舶の避難
(2020年7月)入港する大型コンテナ船と外港防波堤
(2021年5月)三保防波堤 ケーソンの据付作業
(1973年)外港防波堤 40t型消波ブロックの製作工事
(1979年)防波堤整備前の清水港
(1962年7月)現在の清水港
(2021年3月)外港防波堤 40t型消波ブロックの据付作業
(2005年3月)清水港湾事務所港湾業務艇「まさき」
による外港防波堤の施設点検
(2021年5月)

出典：国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス